

2020 年 5 月 25 日

日銀ネットの有効活用に向けた協議会

日銀ネット国債系と香港ドル即時グロス決済システムとの間の
クロスボーダーDVP リンクにかかる総合運転試験 (RT) について

- 現在開発を進めております日銀ネット国債系と香港ドル即時グロス決済システム (以下「HKD CHATS」) との間のクロスボーダーDVP リンク (以下「CBL」) については、2021 年 2 月頃に、日銀ネット利用先、HKD CHATS 利用先のうち参加を希望される先を対象に、総合運転試験 (RT) を実施する予定です。
- RT の実施概要、参加希望調査、実施手順書等につきましては、今後、追ってお示しする予定ですが、現段階では、以下のような方針で香港側と調整を進めて参りたいと考えております。
 - RT への参加は任意。RT 実施概要は、2020 年 6 月中の公表を検討しているが、これにあわせて参加希望調査を行い、日銀ネット側の RT 参加者を決定する。日銀ネット利用先と HKD CHATS 利用先の RT 参加者間のペアリング(グルーピング)は、2020 年 8~9 月頃を目途に、RT 参加希望先の中から、日本銀行と HKMA・HKICL 間で調整し、決定する方向で検討する。
 - RT は 2 日間実施する予定。いずれの日程もシステム面の制約等を踏まえ、土曜日の午後 1 時開始、午後 6 時終了とする。RT 当日は、事前に定めたシステム運用日(平日)を後述のクロスカレンシーレポ取引の決済日と看做して、CBL にかかる各種機能を試して頂く予定。
 - シナリオ(テストケース)は、日本国債を担保に香港ドルを調達するクロスカレンシーレポ取引を対象に、CBL を利用して決済するフローにおける「通常取引」(取引のスタート時、エンド時を想定)、およびいくつかの「エラー取引」(検証結果不一致、<HKD CHATS 利用先側による>取引 ID や国債払出先・受入先の BIC の誤入力等を想定)とすることを検討する。

—— 上記クロスカレンシーレポ取引のスタート時、エンド時における、CBL を利用した決済フローは別紙のとおり。
 - 市場慣行(取引 ID の付番方法、カットオフ・タイム)についても RT で試して頂くことを検討する。

- 上記の方針につき、ご意見等ございましたら、6月8日（月）までに以下のメールアドレスまでご連絡ください。

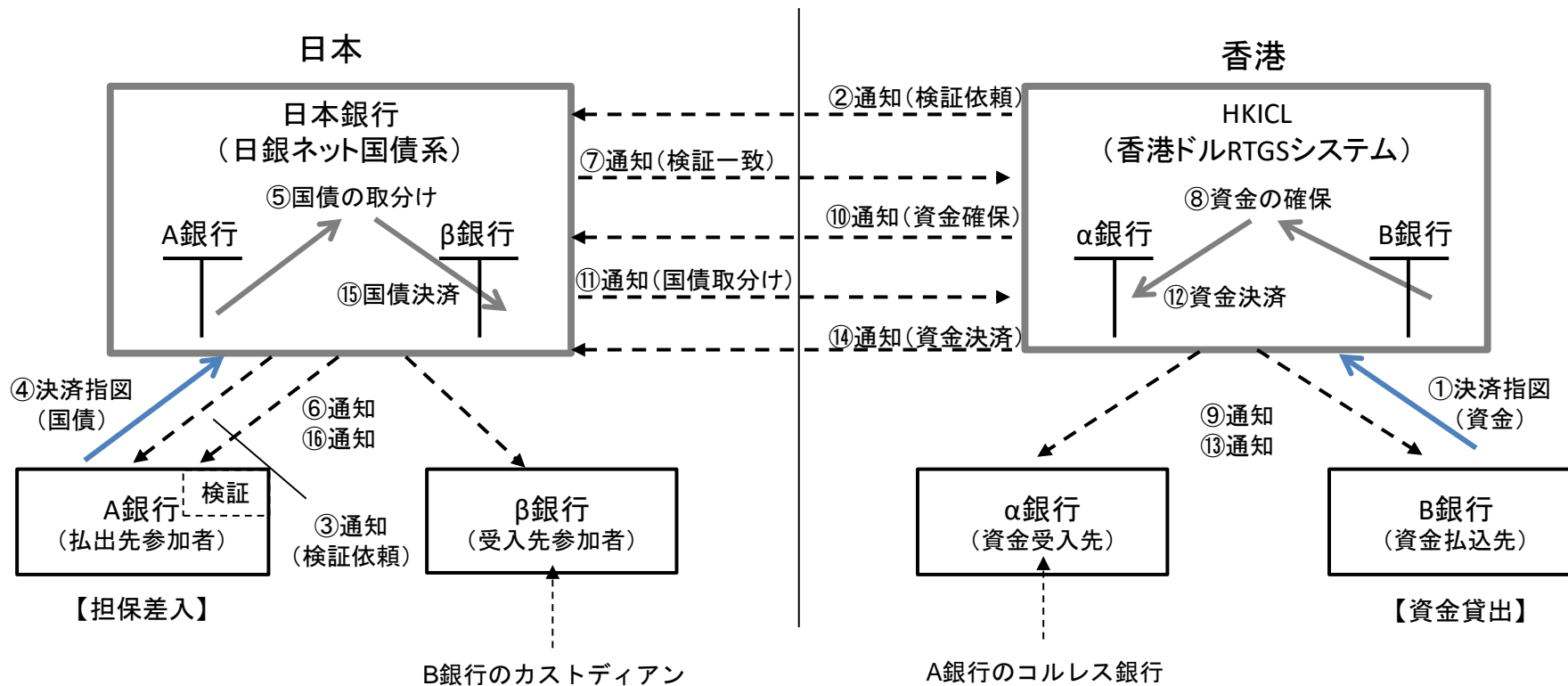
日本銀行決済機構局 決済システム課

【電子メールアドレス】 post.pssd57@boj.or.jp

—— ご質問がある場合には、上記のメールアドレス宛てにお問い合わせください。

以 上

スタート時



エンド時

